

令和5年第1回燕市議会定例会
一般質問日程表

質問日	質問者	質問方式	
		一括質問	一問一答
3月 2日 (木)	午後	1 藤井 秀人 議員	○
		2 高橋 妙子 議員	○
		3 大島 靖浩 議員	○
		4 近藤 隆行 議員	○
7日 (火)	午前	5 長井由喜雄 議員	○
		6 小林 由明 議員	○
	午後	7 土田 昇 議員	○
		8 田澤 信行 議員	○
		9 渡邊 広宣 議員	○
8日 (水)	午前	10 斎藤 和也 議員	○
		11 岡山 秀義 議員	○
	午後	12 タナカ・キン 議員	○
		13 佐野 大輔 議員	○
		14 宮路 敏裕 議員	○
		15 稲村 隆行 議員	○

令和5年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
1	藤井秀人 (一問一答方式)	1. 燕市の文化財について	(1)文化財について	<p>①市内の文化財を指定されている国・県・市別の件数を伺いたい。</p> <p>②文化財の指定はどのように決められているのか。</p> <p>③文化財の取り消しの事例はあるのか。例えば、紛失・盗難・破損等で。</p> <p>④指定されている文化財の点検・確認等は定期的になされているのか。</p> <p>⑤個人所有以外の文化財は、今現在どこに、どのように保管・管理されているのか。</p> <p>⑥今後、文化財保護をどのようにしていくのか。 具体的な考えがあったらお伺いしたい。</p>
		2. 今後の歴史地域文化の保存・継承について	(1)芸能・文化について (2)地元に眠っている古文書等の扱いについて	<p>①燕市として、地域の芸能文化で保存、継承しているものはあるか。</p> <p>②時代の変化とともに価値観も変化しており、古いものの扱いに苦慮している家もあるとの話も聞きます。教育委員会に相談等の事例はないのか、お聞きしたい。</p>
2	高橋妙子 (一問一答方式)	1. 防災について	(1)災害に備えるための取り組みと自主防災組織について	<p>①燕市には市の補助金として、「燕市自主防災組織補助金」と「燕市地域防災活動推進事業補助金」があり、自主防災組織に対して、防災資機材の購入補助や防災訓練等の地域の防災活動に対して補助を行っています。</p> <p>各地域の自主防災組織は、市の補助金を活用して、どのような取り組みを行っているか伺います。</p> <p>②家族の中に、介護を要する方などがいて、家族だけで避難することが困難な場合、避難行動要支援者対策として地域で支援する必要がある場合があります。</p> <p>要支援者の状態を把握したうえで、各地域ではどのような工夫をしているのか伺います。</p> <p>③市内において、ペットは大事な家族として共に生活をしている方々は多いと認識しております。</p> <p>ペット同行避難訓練への取り組みに関して、市の考えを伺います。</p> <p>④防災出前講座では、どのようなテーマに沿って開催されているか。また、受講される方々にとって、要望の多いテーマがありましたら伺います。</p>
			(2)防災教育について	①現在、燕市内の小中学校で取り組んでいる防災教育の現状について伺います。
			(3)市の福祉避難所に関する考え方について	<p>①障がいを持つ方々や高齢者など、一般の避難所生活において何かしらの特別な配慮を必要とした場合、その時の状態の変化に留意して適切な対処がなされる必要性があります。そうした場合、福祉避難所は such した方々をどのような形で受け入れるのか伺います。</p> <p>②災害救助法に基づく福祉避難所の開設期間は、災害発生の日から7日以内です。</p> <p>福祉避難所を開設した後の市の役割と、福祉避難所運営に関する課題がありましたら伺います。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	大島 靖浩 (一問一答方式)	1. 燕市におけるいじめ対策について	(1)「燕市いじめ防止基本方針」(令和4年10月改正)策定後の現状と対応策について	<p>①「いじめ問題対策連絡協議会」及び「燕市いじめ防止対策等専門委員会」これまでの開催実績と教育現場へのフィードバックについて伺う。</p> <p>②「教職員の指導力の向上に係る研修実績」年間2回以上実施することとなっているが規定とおり実施できているか。またその内容について伺う。</p> <p>③「SNSを活用したいじめ対策」静岡県浜松市若者支援相談窓口「わかば」では、SNS相談を実施しているが、本市においても教員と直接対面すると本心を言うことができない児童生徒もいると想定される。については、SNSを活用した相談窓口について本市での取り組み状況について伺う。</p> <p>④「行動変容プログラムの実施」いじめ防止対策の一環として、「行動変容につながるようなプログラムを導入し」とあるが、自己有用感及び自尊感情の向上に係る具体的な教育方法について伺う。</p> <p>⑤「いじめの起きにくい環境づくり」学校基本方針では、「いじめに向かわない態度・能力の育成等いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりのためにいじめを防止するための包括的な取り組みの方針を定め、その具体的な指導内容のプログラム化を図る。」とあるがどのようなプログラムか、また、その効果と評価について伺う。</p> <p>⑥「保護者の参画」学校基本方針では、「策定や見直しに当たっては、保護者の参画を得て・・」とあるが保護者会の実施回数と保護者の参加者数。また、その参加者数は学校の期待する数字であったか。またそうでなければどのような方策が適当か今後の改善点について伺う。</p> <p>⑦「加害行為の防止に係る対応」いわゆる加害児童生徒に対してどのような方法によって非を悟らせるのか。また指導件数について伺う。</p> <p>⑧「スクールカウンセラーの効果的な活用」スクールカウンセラーの具体的な活用方法及びその効果について伺う。</p> <p>⑨「ケース会議」ケース会議の開催実績及び効果について伺う。</p> <p>*算出根拠となる、指導回数、実績等の数は令和4年4月1日から令和5年2月1日まで期間とする。</p>

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	近藤 隆行 (一問一答方式)	1. 「燕市出産・子育て応援事業」について	(1)伴走型相談支援について	<p>①本年1月27日より、「燕市出産・子育て応援事業」がスタートしました。本事業は、給付金による経済的支援もさることながら、妊娠期から出産・産後、育児期といった各段階に応じて、全ての妊婦や子育て家庭に寄り添った身近な相談支援である「伴走型相談支援」が特徴かと思います。</p> <p>燕市では様々な相談窓口による相談支援や、妊婦訪問、希望者には助産師の訪問等、もともと相談支援が充実している面もあったかと思いますが、今回の事業で新たな試みなどあるか伺います。</p> <p>②伴走型相談支援は面談が重要で、面談によって、より支援の選択がしやすくなったり、面談者の不安が解消されたりなどして、施策の充実が図られると思うが、市はどのように考えているか伺います。</p>
			(2)相談支援体制について	<p>①「伴走型相談支援」によって、保健師、助産師、看護師や、相談窓口業務が今後も増えることが予想されますが、現状の相談支援体制で対応できるかどうか伺います。</p>
			(3)応援給付金事業について	<p>①しばらくの間は現金での給付とのことだが、どのような状況になると、商品券、電子クーポンなど、その他の方法になるのか伺います。</p>
		2. 事業承継・後継者問題について	(1)事業承継・後継者問題を抱える中小企業・小規模事業者について	<p>①中小企業庁の推計では、2025年までに70歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約245万人となり、うち約半数の127万人(日本企業全体の1/3)が後継者のいらない状況であるというデータが出ています。製造業の割合が大きい燕市も、まさに同様の問題を抱えていることが考えられるが、市ではそのような現状を把握しているか伺います。</p>
			(2)事業承継支援事業について	<p>①市では事業承継支援において、人材育成の支援、補助金などの支援等行っておりますが、今後はどのように考えているか伺います。</p>
5	長井 由喜雄 (一問一答方式)	1. 保育園と児童クラブについて	(1)保育園におけるいくつかの問題について	<p>①保育園における「認可定員」と「面積をもとにした受け入れ可能数」および年度募集で使われる「配置可能職員数を基にした受け入れ可能数」について伺う。</p> <p>②国が定める「保育士配置基準」が1歳児においては6:1であるところ、1990年から新潟県として私立の保育施設に対しては3:1の加配をしている。</p> <p>燕市も以前は同様としていたが、現在は1歳半以上に対して4:1としている。</p> <p>保育条件の不均衡ともなっており、もとに戻すべきと考えるがいかがか。</p> <p>③「不適切な保育」が社会的に問題として取り上げられている。</p> <p>一方で保育におけるマイナス報道が過多となることで保育士不足を深刻化する懸念もあるところだ。</p> <p>新潟市では公私立園に対し動画による研修を実施していると聞く。</p> <p>燕市の公立園では3割の保育従事者が無資格者である現状から、保育そのものの研修は必要だと考える。</p> <p>保育の実施義務を持つ市の考え方を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	長井由喜雄 (一問一答方式)	1. 保育園と児童クラブについて	(2)児童クラブにおけるおやつについて	<p>①公立児童クラブにおいて、コロナ禍による影響もある中で「おやつ」の提供がされなくなって、さらに次年度以降「おやつ」提供が廃止されると聞く。現状について伺う。</p> <p>②児童クラブは「放課後児童健全育成事業」に位置付けられ、「適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業を言う」とされている。 就労後の迎えまでの時間に一定の栄養を与えることは大切なことだと考えるがいかがか伺う。</p>
		2. 燕市スポーツパークの凸凹について	(1)改修内容と現状の認識について	<p>①昨年の春に総務文教常任委員会で市内視察をしたが、改修されたばかりのコートの視察だったのだがコートが平らでなく湾曲、凹凸がある状態であったと認識している。その後、テニス関係者からスポーツパークの湾曲、凹凸について同様の声が寄せられた。 改修工事に至る経緯と工事内容、現状の認識について伺う。</p>
		3. 「障害者基本法」「障害者差別解消法」および市の「障害者基本計画」に基づく現状と市の施設整備について	(2)平ではないという認識に立った時、今後の対応について	<p>①そもそもテニスコートはどういう状態にあるということを前提とするのか伺う。</p> <p>②さらに手を加えて利用者が望むテニスコートとする必要があると考えるが、対応を伺う。</p>
			(1)「障害者基本法」「障害者差別解消法」に対する市の認識と法律が求める市の現状について	<p>①「障害者基本法」「障害者差別解消法」に対する市の認識と法律が求める市の現状について伺う。</p>
			(2)「障害者基本計画」の進捗と課題の認識について	<p>①「障害者基本計画」の進捗と課題の認識について伺う。</p>
				<p>③市内図書館のうち、利用と貸出が一番多い吉田図書館にはエレベーターもスロープさえもないが、対策を取るつもりはないのか伺う。</p>
				<p>②燕市スポーツパークは車椅子テニスが可能な施設か。また、トイレも管理棟の2階にしかなく、障害者スポーツが可能な施設ではないのではないか。対策を取るつもりはないのか伺う。</p>
				<p>③障害の有無に関係なく市民が文化、スポーツを楽しむために、現在バリア解消がなされていない施設はどれほどにのぼるか。また、解消に向けてはどういう姿勢で臨むのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	小林由明 (一問一答方式)	1. 持続可能な都市の実現と子育て環境の充実について	(1) 移住定住人口増と子育て環境の充実について	<p>①持続可能な都市とするために移住定住人口増の取り組みは必要であり、そのために子育て環境の充実は必要であると考えている。</p> <p>内閣府に、人口増を実現している自治体の政策傾向などを調査した資料がある。</p> <p>その資料においては、住環境整備や子育て支援等の施策への取り組みにより、若い世代の住民の暮らしやすさが向上していることなどが人口増の要因であるとされている。</p> <p>「子育てするなら明石市」を掲げ、様々な取り組みをおこなっている明石市では転入や出生率の増加が顕著だという。</p> <p>燕市では3つの人口増戦略とともに重点施策として「子育てするなら燕市」を掲げ子育て環境の充実に取り組んでおり、燕市の子育て環境はさらなる進化を遂げ、さらなる人口増につながるという期待感がある。</p> <p>一方で、子育て環境の充実といつても、保護者の経済的支援から保育の質や学力の向上などといったように性質の違う取り組みが存在している。</p> <p>市は施策展開や日頃の業務にあたり、どのようなことに着目しているのか伺いたい。</p>
			(2) 子育て支援センターについて	<p>①子育て支援センターが果たす役割（他の子育て関連施設との機能の違い、性質、特徴など）を端的に伺いたい。</p> <p>②市は子育て環境の充実に特段の注力をおこなっているが、そこにおける子育て支援センターの存在意義をどのように考えているか。</p> <p>③子育て支援センターのサービスについて、住民満足度も含め評価はどうか。</p> <p>④地域社会や家庭において、育児についての見聞や経験が乏しい人が増えている一方で、身近に相談相手がなく、子育て家庭が孤立しがちとなっている状況がある中で、安心・安全な環境で親と子を温かく受け入れ、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことのできる専門職があり、そうしたサービスを受けられる施設として、子育て支援センターの役割はますます期待されている。</p> <p>さらにまた、親と子のコミュニケーションの支援や児童虐待防止の観点などからも、他の施設が果たせない重要な役割を担うものであるはずである。</p> <p>子育て支援センターの重要性を明確に示しその機能を向上し、市民の子育ての質、市の子育て環境の充実につなげていくべきではないか。</p> <p>⑤こどもの森など、園併設でない独立型の子育て支援センターに正規職員を配置し、より質の高い子育て支援サービスを提供できるよう取り組むべきでないのか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6 小林由明(一問一答方式)		1. 持続可能な都市の実現と子育て環境の充実について	(2) 子育て支援センターについて	<p>⑥子どもの森近接地には全天候型子ども遊戯施設が建設されるとともに文教施設が集積し、河川公園や交通公園もあり燕市の子育ての聖地ともいえる環境となっている。</p> <p>さらには燕三条駅周辺における大型商業施設建設も予定され、河川公園周辺にも市内外から多くの方が訪れることが予想される。</p> <p>子どもの森と全天候型子ども遊戯施設に求められる機能や役割は違うはずだが、利用者にはそうした行政の思惑などは関係なく、より多くの方が利用できそのニーズに応えられる環境が求められている。</p> <p>その棲み分けや相互補完性、質の高い保育環境の整備のために、全天候型子ども遊戯施設の整備を進める中では子どもの森の在り方も含めて一体的に考えて行く必要があるが、市は現在どのような考え方やイメージを持っているのか伺いたい。</p>
			(3) 保育所(園や子育て支援センターなど)における職員確保と資質向上について	<p>①保育士などの確保が難しい状況が続いていることに対し待遇改善などにも取り組んでいることは承知している。一方で、働きたい職場環境や雇用条件になっているかという視点は欠かせないものと考えている。</p> <p>保育所における正規非正規職員の別による役割分担の適切性すなわち待遇の適切性や、組織運営、保育に対する市の姿勢や考え方方が職員のモチベーションにどのような影響を与えており、離職の原因や復職の阻害要因はなにかなど、働きたい職場環境になっているかを正確に把握しその対応がなされているか。</p> <p>②「子育てするなら燕市」として子育て環境の向上を実現するに、それを支える保育士等確保のために、さらなる待遇改善を含めより踏み込んだ取り組みを実施すべきではないか。</p> <p>③一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るために、職場内での研修に加え、関係機関等による研修の活用や市外の子育て関連施設視察など、外部研修への参加機会が確保されるべきではないか。</p> <p>またその際、研修の参加機会が、正規・非正規の別を含め特定の職員に偏ることなく確保される必要があると考えるがいかがか。</p> <p>④燕市の学校教育においては、燕市教員研修視察派遣要綱にある通り、教員自らの能力向上を後押しし、燕市に来ると勉強できるというインセンティブを与えることで意欲ある教員を確保していくといった考え方があつたが、こうした取り組みは子育て関連の職員となるうとする方のインセンティブにもつながると考えている。</p> <p>保育所の正規・非正規職員にも同様の研修支援制度を設け、能力向上の意欲に応えるとともに市の子育て環境のさらなる質の向上に取り組んではいかがか。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	小林由明 (一問一答方式)	1. 持続可能な都市の実現と子育て環境の充実について	(4) 子育て支援センターにおけるおもちゃについて	<p>①子育てにおけるおもちゃの果たす役割をどう考えているか伺いたい。</p> <p>②市内保育所には、電子おもちゃやキャラクターのついたおもちゃや絵本が多く偏りを感じている。玩具などは、音質、形、色、大きさなど子供の発達状態に応じて適切なものを選び、遊びを通して感覚の発達が促されるように工夫されるべきであるが、市はどのような考え方でおもちゃを整備しているのか。</p>
7	土田昇 (一問一答方式)	1. 農業問題について	(1) 備蓄米と飼料の取り組みについて	<p>①現在農家の方々で今年の作付の問題が話し合われています。農水省は食糧自給率の向上と言っていますが、現在の備蓄米の在庫量は100万トン前後と思います。農水省は米の消費の減少に合わせた見直しが必要として減らす方向で検討しています。現在農家の方々は主食用米の作付が減っている以上は備蓄米で対応してほしいと願っています。今まで以上の備蓄米の作付を求めています。</p> <p>J Aと共に国に要求していくべきと思うが、その認識について伺う。</p> <p>②水田活用直接支払交付金の飼料用米の助成を段階的に引き下げる方向で検討されていると報道されています。今まで農家の皆さんは農水省の指導に従って飼料米を作付けしてきましたが、交付金が削減されたら耕作放棄が出てきたらどうしようかと苦悩しています。その対策について農家を守る立場で発言し行動してほしいと思うが、その認識について伺う。</p> <p>ミニマムアクセス米も確認します。</p> <p>参考までに現行の10a 8万を基準に、2024年度から標準単価を1年ごとに5,000円ずつ減らし、2026年度は6万5,000円まで引き下げる。</p>
		2. 市営住宅の問題について	(1) 解体可能な戸数に対する予算は	<p>①旧燕市の市営住宅で入居者を募集しない団地は</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小牧294番地 (2) 小関1427番地 (3) 新生町132番地 (4) 花園町2番 <p>今後の対応と解体について伺う。</p> <p>②旧吉田地区で入居者を募集しない団地は</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 吉田新田町12番 (2) 吉田西太田1号団地307番地1 (3) 吉田東栄町47番 (4) 富永の団地は用途廃止 (5) 吉田3687番地、3720番地1（桃山団地です） (6) 粟生津107番地2（粟生津の団地です） <p>今後の対応と解体及び取り扱いについて伺う。</p> <p>③旧分水地区の入居者を募集しない団地は</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 泉新374番地6 <p>今後の対応について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する員 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
7	土田昇 (一問一答方式)	3. 借地の問題について	(1) 今後の対応と見通しについて	<p>①令和3年の借地の件数と支払った金額について伺う。</p> <p>②今後の見通しはどうなっているか伺う。</p>
8	田澤信行 (一問一答方式)	1. 安全・安心な都市機能について 2. 部活動の地域移行事業について	(1) 防災情報等の情報配信について	<p>①燕市は「災害に強いまちづくり」として、高齢者（75歳以上）のみの世帯を対象に避難所開設等の防災情報を固定電話に音声メッセージを届けるサービスを行っています。</p> <p>このサービスは登録制だと認識していますが、今年度登録世帯数と対象世帯の何パーセントが登録頂いているのか伺います。</p> <p>②音声メッセージではどのような情報が提供されるのか具体的に教えてください。</p> <p>また、避難所は当該世帯の避難所を音声メッセージで伝えてくれるのか伺います。</p> <p>③令和5年度では「地域社会のDX」を重点施策として取り上げていますが、デジタル技術（例えばスマートスピーカー等）を駆使して情報弱者に対して平等な行政サービスを提供することが近々の課題ではないかと考えているが、いかがお考えか伺います。</p>
			(1) 部活動の在り方に係る方針について	<p>①部活動の地域移行に関して國の方針に従い、燕市としては令和4年2月に「燕市 部活動の在り方検討委員会」を設置、いち早く方針を定めようとしていますが、何故、他自治体の動向を参考にせず、早々に方針を作成する必要があったのか伺います。</p> <p>②まずは、つばくろいきいきスポーツクラブ（陸上、バスケット、バレーボール、バトミントン、野球）の延長線上での活動を計画しているようですが、つばくろいきいきスポーツクラブの活動状況（活動日数、登録人数、出席率、指導者人数）を各クラブ単位で伺います。また、登録人数は増加傾向にあるのか併せて伺います。</p> <p>③部活動の地域移行は令和5年度から段階的に実施し令和8年度で「すべてのスポーツ・文化活動で実施（原則すべての休日で実施）」となっていますが、何故、全ての部活動を地域移行しなければいけないのか伺います。また、計画が現実的であると考えているのか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
8	田澤 信行 (一問一 答方式)	2. 部活動の 地域移行事 業について	(1) 部活動の 在り方に係 る方針につ いて	<p>④部活動の地域移行の背景には、 (1)中学校生徒数の減少による部活動の継続が困難にな つてくること (2)教員の人材不足による部活動の指導が大きな業務負 担になること と大きく2つの要因をあげています。 その上で子供たちが持続可能で多様なスポーツ環境や 文化芸術等に親しむ環境の整備に取り組むためには「部 活動の地域移行」が必要なのだという論法は理解できま す。</p> <p>そこで伺いますが、方針を作成する前に当事者となる子 儿たちとその保護者たちの考え方や指導者として協力して 頂きたい市民に対してアンケート調査を行わなかつた 理由について伺います。</p> <p>また、今後もこのような市民アンケートの必要性は無い と考えているのか伺います。</p>
9	渡邊 広宣 (一問一 答方式)	1. 市長の政 治姿勢につ いて	(1) 市政に取 り組む基本 の方針につ いて	<p>①市長（政治）の市政に対する基本の方針について伺う。 ②国・地方自治体・燕市も含め、行政サービスにおいて 所得制限緩和、撤廃の方向に動いているが市長の考え を伺う。</p>
			(2) 新型コロナ 禍 3 年間の 認識と今後 の対応につ いて	<p>①新型コロナウイルス感染が3年以上続いている中、燕市 の施策の実績と評価を伺う。 ②この間、露呈した問題点を伺う。 ③政府は、5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の 分類を現在の2類から5類に引き下げる決定した。 今後、マスクの着用の有無や移行に伴う燕市の対応、行 動指針について伺う。</p>
		2. 人口問題 について	(1) 人口減の実 態について	<p>①1月30日、総務省発表の住民基本台帳人口移動報告で東 京都は転入超過が3万8023人となり超過幅は3年ぶり に拡大した。燕市の状況について伺う。 ②地方自治体において、コロナ禍の3年間テレワークの普 及、地方移住政策、U・J・Iターン政策、シェアオフ イスの整備を進めてきた。燕市の実績と今後の対応策に について伺う。</p>
			(2) 今後の人口 減対策につ いて	<p>①2022年の出生数が政府の想定より11年早く77万人台に なったとの推計が発表された。燕市の昨年の出生数と合 わせて直近3年の推移を伺う。 ②少子化理由として未婚者の急増と非正規労働者の問題 が上げられている。燕市の未婚者の割合（最近の推移）、 非正規労働者数（割合）及び正規・非正規労働者賃金を 把握しているか伺う。 ③上記を踏まえ、国がやるべき事と燕市の今後の政策の在 り方を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	渡邊 広宣 (一問一答方式)	3. 教育行政について	(1) S T E A M (S T E M) 教育について	<p>①政府は理工系学生の急増方針を示した。近年、S T E A M教育の必要性が言われている。以前にも質問したが、新年度予算にも計上されているが具体的展開について伺う。</p> <p>②施策を行う上で教師の人数確保、能力について、また、指導方法・研修の在り方を伺う。</p>
			(2) 家庭観の教育について	<p>①学習力の向上はもちろん大事なことであるが、仕事と育児・家庭問題も大切である。教育の現場でも考えるシンが需要と思うが所見を伺う。</p>
10	斎藤 和也 (一問一答方式)	1. 広報活動について	(1) S N Sでの情報発信について	<p>①公式L I N Eの運用状況、登録者を増やすための取り組みについて伺う。</p> <p>②各S N S媒体での使い分けはあるのかについて伺う。</p> <p>③燕市からの情報がより市民に波及するために今後どのような取り組みをするのかについて伺う。</p>
			(2) 追跡調査について	<p>①教育に関する事業を経験した子供たちの追跡調査を行っているかについて伺う。</p> <p>②まちあそび部や燕ジョイ活動部に参加した人たちのその後の活躍や活動を把握しているのかについて伺う。</p>
	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 放課後児童クラブの現状と課題について	(1) 放課後児童クラブ受入可能人数と施設について	<p>①放課後児童クラブについては「放課後児童健全育成事業」として、共働き家庭などの小学生に勉強・友達との遊びの場・生活の場として提供し、安全で健全な育成を図ることを目的としている。</p> <p>本市においては現在公立13・私立2の放課後児童クラブがあるが各児童クラブ受入可能人数に対して希望するすべての児童を受入できているのか伺う。</p> <p>②児童数は減少傾向であるが今後、放課後児童クラブの必要性がより高まり児童増加が予想される。</p> <p>特にスポット(長期休校)時には受入が難しい状況がある。現状と対応について伺う。</p> <p>③放課後児童クラブガイドラインには主な基準として、「運営にあたり集団の規模は、おおむね40人程度までとすることが望ましい」(規模は最大70人までとすること)また、「施設は専用の部屋または間仕切り等で区切られた専用スペース。1人あたりおおむね1.65m²以上が望ましい」とあるが児童が安全安心に過ごせるスペースをしっかりと確保できているのか現状を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	岡山秀義 (一問一答方式)	1. 放課後児童クラブの現状と課題について	(2)放課後児童指導員について (3)安全対策・緊急時の対応について (4)支援を必要とする児童への対応について (5)今後の児童クラブ運営について	<p>①放課後児童クラブにおいて指導員は児童の健康面・精神面・遊びへの活動意欲や態度の形成を図りながら子供が安心して放課後を過ごせるようサポートする大切な役割をもっている。 児童一人ひとりに目が行き届くよう、大切な指導員が必要であれば確保して児童を守るべきと考える。求人情報には常に学童保育指導員を募集している施設もあるが、各児童クラブにおいて学童保育指導員はしっかりと確保できているのか伺う。</p> <p>②共働き家庭における「小1の壁」・「子供と指導員の関係」にしっかりと対応するためには、指導員の育成は必要不可欠であると考える。 指導員講習会など現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>①放課後児童クラブ施設において、大人の目線では気付くことのできない「危険箇所」が多くある。 児童が安心して過ごせるよう、子供目線で事前に「危険箇所」を把握し事故を阻止するために、どのような対策がなされてきたのか伺う。 また、今年度に起きたケガなどの事例と対応について伺う。</p> <p>②緊急災害発生時に速やかに安全に回避するための避難訓練、ウイルス等感染症流行時における対応について伺う。</p> <p>①児童クラブにおいてもインクルーシブ（仲間はずれにしない）の考え方方に立ち、支援を必要とする子供に対して、利用する機会がしっかりと確保されるように適切な配慮及び環境整備を行い、子供たちとの生活を通して共に成長できるよう育成支援が必要と考えるが現状と対応について伺う。</p> <p>①切れ目ない支援、子育て相談窓口の一元化、なかまの会の児童クラブ化等により担当課職員への負担が大きくなると思う。 来年度より学校教育課へと担当移行するが、児童クラブを管理・指導する立場として引き継ぎをしなければならない。 各児童クラブそれぞれ特色ある運営をしていただいているが担当課はあくまでも管理・指導する立場で「しっかりとものを言える運営」をすべきと考えるが認識を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	岡山秀義 (一問一答方式)	2. 長善館について	(1)先人の意思を活かす長善館について	<p>①大河津分水通水100周年記念事業において市民や県内外の多くの方々に、長善館の門下生たちの学び、先人の思いや心が周知された。G I G Aスクール構想によりオンライン学習環境が整備された今、心を育てる長善館の教えをオンライン学習で燕市の子供たちに伝えるべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>②物があふれ生活は豊かになったが人は思いやる心は貧しくなったと言われる今般、子供たちの心を育てるためにも年間35時間ある道徳の授業に長善館の心、「自分の良いところを伸ばす」「困っている人を救うために学ぶ」「学んだら実行することが重要」という学是を取り入れるべきと考えるが認識を伺う。</p> <p>また、偉人漫画活用事業として小中学生にマンガをどのように活用していくのか伺う。</p>
			(2)長善館史料館と長善館(吉田老人いこいの家)について	<p>①施設の老朽化の対応や数多くある文化財の展示・所蔵スペースの確保、燕市観光拠点や入館者数増加を図るためにも、施設の機能拡充や移転改築を含めた長善館史料館・長善館の新たな在り方について検討すべきと考えるが認識を伺う。</p>
		3. 市営墓地について	(1)墓地管理について	<p>①市営墓地において舗装されていない箇所があり、足の不自由な方や車いすでの参拝ができないという声がある。等しくお参りできるように対応すべきと考えるが認識を伺う。</p>
12	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 自治会のあり方について	(1)自治会のあり方について	<p>2月4日の三條新聞の合流点に「ありますか、風通し悪い自治会」の見出しで、自治会の運営に対しての疑問が投げかけられた。自治会のあり方等に対する投稿は、これまで何度も何度もあったが、それが燕市内なのかどうかまでは分からなかった。</p> <p>しかし、今回は町名もはっきりしている。勇気を持って声を上げている市民の指摘を、無視する訳にはいかないと思う。</p> <p>①市は、この声をどう受けとめるのか伺う。</p> <p>②そもそも、現在の様な自治会が出来たのはいつの頃か伺う。</p>
		2. 分水良寛史料館について	(1)新分水良寛基本構想策定事業について	<p>分水良寛史料館は昭和55年に開館しており、今年で43年目になる。道の駅国上周辺への移転改築は観光の面からも大いに期待できる。</p> <p>①令和5年度当初予算のポイントでは、担当課が社会教育課となっているが、観光振興課との連携なしでは進められない事業だと思うが伺う。</p> <p>②目的の一つに減少傾向にある入館者数の増加を図るためにあるが、増加しない理由はどこにあると考えているか伺う。</p> <p>③施設機能拡充について伺う。</p> <p>④県内には他に良寛の里美術館(長岡市)、良寛記念館(出雲崎町)があり、他にも良寛関係の資料を展示しているところもある。それらと比較にならない施設を造らなければ意味がないと思うが伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	タナカ・キン (一問一答方式)	3. 長善館史料館について	(1) 長善館史料館の周知について	良寛史料館もそうだが、この長善館史料館も入館者数が少なすぎる。 ①入館者の増加を図るために何が必要と考えているのか伺う。 ②長善館創設者、鈴木文臺の功績をもっと市内外に発信する必要があると考えるが伺う。
			(2) 長善館史料館の移転・改築構想について	①市内外に発信して来館してもらうためには、現在の場所や史料館の内容では人を呼び込めないと考えるが伺う。 ②良寛史料館と合わせて道の駅国上周辺に移転・改築すれば長善館を市内外に発信できると考えるが伺う。
		4. 教育センターについて	(1) 教育センターの移転・改築構想について	現在の教育センターの名称は「燕市文化教育施設燕・弥彦科学教育センター」で西燕駅の近くにある。 この施設は、元は法務局であったが、現在は老朽化が進みつつある。 ①建てられてから何年経過しているか伺う。 ②燕の教育センターの変遷を伺う。 ③教育立市宣言をしている燕市にとって教育センターは、それに相応しい施設でなければと考えるが伺う。
13	佐野 大輔 (一問一答方式)	1. 燕市総合計画の周知について	(1) パブリックコメント時の周知について	燕市総合計画は燕市の最上位計画であり、まちづくりの基本的な考え方である「基本理念」と燕市が目指すまちの姿「将来像」を示すとともに、その将来像の実現に向けた政策の柱である「基本方針」かつ各分野の個別の計画に方向性を与える非常に重要な計画である。 ①今回の計画時のパブリックコメントの募集についてどのような考えを持って、どのように周知したか、また、その効果について伺う。
			(2) 燕市総合計画の今後の周知について	①今後、最上位計画で燕市の政策を示す上で非常に重要な計画である燕市総合計画をどのように周知していくか伺う。
		2. ゼロカーボンシティの実現について	(1) 工場などものづくりの現場における取り組みについて	国として2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を宣言したことにより、燕市でもゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して政策に取り組んでいると理解している。 ①ゼロカーボンシティの実現だけでなく、雇用環境の改善及び企業コストの削減という観点でも事業所において「遮熱」や「断熱」といった取り組みは非常に効果的であり、市内の事業者でも「遮熱」の効果について成果を示すデータもあるが、こういった取り組みを支援する政策を実行することはできないか伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)		
13	佐野 大輔 (一問一答方式)	3. 松長小学校の廃校後の活用について	(1)廃校後の校舎の利活用について	<p>①令和5年度いっぱい松長小学校については、廃校が決まっており、その後の利活用についてはまだ方向性が決まっていないと理解しているが、他市の状況でも廃校後に年月が経てば経つほど校舎の劣化が激しくなり、年数を空けてからの再活用は修繕等が大幅に必要になり、再稼働までの費用が高額になっている事例がある。それらを踏まえて廃校までのあと約一年、記念事業の計画と合わせて令和6年度以降の利活用についても同時に検討していく必要があると考えるが、現在の検討状況について伺う。</p>		
14	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 公共施設について	(1)燕市建物系公共施設保有量適正化計画について	<p>①本計画に基づき必要な時期を捉え、今後「個別計画」策定の運びとなると思うが、新年度においては具体的進展を考えているのか伺う。</p> <p>②本計画では、保有量適正化の推進にあたり、市民への理解と合意形成が不可欠としている。そのため、情報提供や説明を行うとしているが、どのようなやり方を考えているのか伺う。</p> <p>③公共施設は災害時の避難所として、防災機能の役割を果たしている。その上で、本計画では「地域防災計画」との調整を図るとしているが考え方を伺う。</p> <p>④本計画では、今後の人口減を見据えながら将来に渡る行財政運営上、公共施設の縮減は避けて通れないとしているが、縮減一辺倒なのかと考える。内閣府の「社会资本ストック推計」資料では、公共建築物の長寿命化の場合、維持管理・更新費の削減効果は大、一方、施設縮減がもたらす効果は限定的という分析、また、総務省の公共施設更新費に関するシミュレーションソフトでは、更新年数の初期値は建て替え60年となっているが、実際には、物理的耐用年数をもとに、目標使用年数を設定、例えば80年とする事例もあるとの指摘がある。これら所見を伺う。</p>		
		2. 民生委員・児童委員について	(1)民生委員・児童委員について	<p>①少子高齢化の進展のもと、地域福祉の課題解決のため、民生委員・児童委員は大きな存在である。委員の方が活動しやすい環境のためには、委員の存在を市民へ周知することが大事であると思うが、その認識と周知方法について、伺う。</p> <p>②高齢者世帯が増えている昨今、委員の方の活動業務が増えていることが予想されるが、無理がないのかどうか把握していることがあるか、伺う。</p> <p>③委員の方の受け持ち世帯地域割振りについて、国が望ましいとする基準があるが、現況はどうか伺う。</p>		
15	稲村 隆行 (一問一答方式)	1. 燕市まちづくり基本条例について	(1)市民の定義について	<p>①燕市まちづくり基本条例 第2条(2)に記載されている通り、他の市町村の住民や外国の方等も市民とみなしているのか市の考えをお伺いします。</p>	(2)市民の権利について	<p>①燕市の住民と他の市町村の住民等がひとくくりに記載されているが、まちづくりに参画する権利が同列であるという認識を持っているのか市の考えをお伺いします。</p>